

### 第3回奈井江町まちづくり町民委員会議事録（要旨）

【日 時】 令和2年1月21日（火） 午後6時00分～午後20時00分

【場 所】 大会議室

【出席者】 町民委員～8名（欠席7名） 町～10名

委員	北 準一	○	三原 新	○	中村尚子	×	大櫛哲行	○	高橋典之	×
	村井啓介	○	北裕次郎	○	太田裕治	×	梅本てる子	○	藤由 均	×
	下川貴子	○	長屋高史	○	福塚智美	×	吉田麻里	×	宇賀神彩香	×
町	三本町長、副町長、教育長 事務局：小澤課長、井上主幹、谷口係長、稲垣主事補 碓井参事、是枝係長、岩部主査									

#### 1. 開会 小澤課長

皆さんおばんでございます。お忙しいところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。本日、席を用意していますが、吉田さんが急遽欠席になったということと、下川さんが少し遅れてくるとご連絡をいただきました。また、残念ながら本日は6名の方が欠席ということと、もう一つ皆さまにご報告しなければならないのが、一般公募の委員の宇賀神さんですが、実は転出をされたということで、町民委員会のメンバーから外させていただきたいと思います。

それでは只今から第3回になりますが、奈井江町まちづくり町民委員会を開催したいと思います。

開会にあたりまして、三本町長の方からご挨拶を申し上げます。

#### 2. 町長挨拶 三本町長

今日初めての方もいるかもしれませんが、改めまして今年もよろしくお願いたします。

まずは、報告ということで何点か話させていただきます。今日の北海道新聞空知版にも掲載されましたが、札幌の「鴨々堂」を壊した後、道の駅に再生して展示しております。

皆さまも日ごろから感じているとおり、奈井江町の道の駅は場所的に非常に良いところであって、利用は進んでいるのですが、なかなかそれが地域から見たら奈井江町の発信になっていないというのを皆さんも感じていると思います。その中で、砂子組さんのご協力を頂いて、奈井江町PRの1つのツールとして明日オープンすることになっています。

何よりも凄く期待したのは、中空知の道の駅のゲートウェイのような位置づけで、中空知の情報発信のスタート地点として位置づけを札幌開発建設部のご協力でもっていただいたということで、これからは札幌開発建設部もいろいろな知恵を出して、この中空知を盛り上げるために奈井江町の道の駅を少しでも良くする方向で動いていただけたらと思います。

2点目ですが、2月4日に「日経トレンドィ」という雑誌で米のヒット甲子園というものがありまして、農業関係の方は聞いてると思いますが、北海道の「ゆめぴりか」が大賞を取ったということ、その「ゆめぴりか」はJA新砂川産の「ゆめぴりか」なんです。7割は奈井江町で産出されたお米ということなので、これが新聞・雑誌に載って全国に発信されれば、益々奈井江町のブランド化に力になるのかなと期待しております。残念ながらなかなかJA新砂川という名前ばかり出るものですから、奈井江は出てこない。まだ公にしていますが、何とか奈井江産ということをアピールできる施策がないか道

庁や農協と一緒に知恵を絞って、はっきりとふるさと納税を含めて、奈井江産「ゆめびりか」を出していきたいと思っています。

少し明るい話題を提供したつもりですけども、これから議論していただく内容はまちづくり後期実施計画についてということですが、非常に昨年、皆さんも驚かれたかと思いますが、まさに今頃から奈井江温泉の経営不振という情報が私の耳に入ったのが今頃です。結果的には8月いっぱいでの休止。そして、病院の状況も極めて厳しい状況ですよと新聞報道されましたし、取材もありました。

また、奈井江町においては、老人保健施設と特別老人ホームの地域包括ケアの非常に大切な施設になります。2つの施設を民営化し、そして、民間の社会福祉法人と一緒にですね、地域包括ケアを進めていきたいという想いはあるのですが、現実的には厳しい状況があつて、これから改めて再構築していかなければならないと思っています。

そして、最後に奈井江町役場の庁舎の関係になります。

そのような課題がいっぱいあるということをお示しをして、問題が有るということを理解していただく1年でありました。

今年は、まちづくり町民委員会が窓口といたしますか、1番先頭となって議論していただきたいと思っていますけども、それに向けた対応策を皆さんと共に考えて、町民の皆さんにお伝えをして理解をいただいて、方向を1つずつ共有していき、解決に向けて進んでいきたいと思っております。

3回に渡る検討委員会に出席していただいて、奈井江町が実施する1つ1つの政策について議論をいただき、大変貴重な意見をいただいております。

本日の町民委員会については、これまでの町民委員の皆さまを始めとして、関係団体との意見交換会、そして全町に対しての町民説明会から頂いた意見を踏まえて、後期実施計画の原案としてまとめさせていただきました。この原案につきましては、先週、町議会の常任委員会でも議論を頂いたところでありますし、昼頃ですけども、議会からも提言をいただきました。

本日は皆さまから最終案に対して、議会に提出する前に意見をお伺いしたいと思っております。来年度からのまちづくり計画の後期実施計画の推進にあたっては、まちづくり基本条例の理念に基づいて、町民主体のまちづくりを進めたいということ、そして、住宅政策・子育て支援政策など総合的に行う移住・定住対策を進めたいと思います。

3つ目には、農・工・商の魅力の情報発信そして将来の産業を担う若者の育成。

4つ目に、全ての世代の方々が参画し、活躍できるまちづくり。

この4つを目指して取りまとめたところでありますが、今後も個別の議論が必要な行政課題が山積しております。それらの課題については方向性が決まり次第、まちづくり計画に掲載させていただくスタンスとしていきます。

その当面の大きな課題について、今後の予定を説明させていただきます。

まずは、先ほども説明しました奈井江温泉になります。前回の休館から1年9カ月で再び休館に至り、大変残念に思っているところではございますが、私としては拙速に再開するのではなく、町民の皆さんや議会に情報を提供して、しっかりと議論をした上で、今後の方向性を決めていきたいと考えております。そのためには、現在、施設の現状把握やこれまでの運営の状況、近隣市町の温泉施設の状況などを担当課で情報収集を行っておりまして、アンケート調査の結果も併せて今年度末を目途に取りまとめ、来年度から町民の皆さんや議会と具体的な方向性を協議してまいりたいと考えております。

町立病院につきましては、病診連携や病病連携など町立病院では、病診連携や病病連携など、地域の役割分担による効率的な運営に努めてきましたが、近年では人口減少による収益の低下などにより、大

変厳しい経営状況が続き、本年度末には、資金不足に陥る見込みとなっております。

町としては、これらの状況から脱却するため、早急に経営改善の方向性について検討し、健全な経営を目指していかなければならないと考えております。このため、令和2年度に、町内外の有識者による検討委員会を設置し、町民の皆さんや町議会にもご意見を伺いながら、将来を見据えた病院経営のあり方について、議論を行い、令和3年度からの病院経営に反映できるよう、取り進めてまいりたいと考えております。厚生労働省や道庁からも、これらの検討に対して適切な助言をいただけるよう努力する旨の回答をいただきましたので、1歩ずつ進めていきたいと考えております。

本日の議題にもあります庁舎整備についても、後ほど、改めて説明いたしますが、災害拠点施設としての位置づけや国の制度活用などを考慮した中で、今後のあり方を検討していく必要があります。

この後、引き続き、担当からそれぞれ説明させますが、皆さんからの忌憚のないご意見、ご提言をいただきたいと思っております。

色々な課題がいっぱいある中で、解決策を簡単に見いだせるものではないと思っていますのですが、ただ、問題を共有するという事は皆さんで出来ることだと思います。そして、巷で色々な話が方向性を示していくものだと私は思っていますので、とにかく皆さんに色々な話しをしていただきたい。

この場でもそうですし、ご近所の人たちでもそのような中ですね、間違いなく方向性が出てくると思いますし、それが奈井江町まちづくり自治基本条例の原点かなと思っていますので、今日も活発なご意見をいただけますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 3. 委員長挨拶 北委員長

皆さんこんばんは。本年もどうぞよろしくお願いいたします。今日は第6回目になりますかね、町民委員会或いは検討委員会。昨年2月の27日だったと思いますけど第1回目の委員会開催以降ですね、主に町のソフト・ハード事業について検討・評価を頂いて、今、町長からお話のありました奈井江町の将来に向けて、課題整理或いは、方向を出していくと、皆さんの意見を頂きながらですね、今回、一定の方向を出していくという段階であります。

役場庁舎のこの後の対応、温泉・病院関係と、課題はたくさん有るわけであります。

しかし、この委員会で今日まで議論させていただいた第6期後期まちづくり計画。これには町民の皆さんに集まっていただいて、多岐に渡る分野でご意見を役場の方で伺ってきて、総括的にまとめたことでもあります。そのことを今回の委員会でもう一度、確認・検証していくという段階になりました。

少子高齢・人材不足等々の人口減少の中で、奈井江町の将来をどのように作り上げていくかということが大きな課題です。皆さま方の意見を頂きながら、良い方向に導いていくことができますように、ご助言を頂きたいと願ひ申し上げます、簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。宜しくお願いいたします。

それでは早速今日の町民委員会の議題の方に入っていきます。

後期まちづくり計画について、担当の方から説明をお願いいたします。

### 4. 議題

《小澤課長》

私の方からまちづくり計画の関係につきまして、説明させていただきたいと思ひます。

## (1) 第6期 後期まちづくり計画について

### 【小澤課長説明】

#### 《委員長》

ただいま後期計画につきまして、検討委員会等々或いは、全町の町民からのご意見・その他意見を集約して、資料5にあるとおり、例えばD評価をC或いはB、この後の課題も含めてですね、評価を見直したり、或いは削除をしたりという作業が進んでですね、報告にありましたような評価をしながら、後期計画の策定に一定の方向性を出したということでもあります。ここでまた1から議論することはありませんが、いま報告がありました、資料がたくさんあるものですから、混同する部分もありますけど、何か指摘・ご意見があれば受けたいと思います。どうでしょうか？どの分野でも構いません。

#### 《委員》

まちづくり計画の関係ですけども、色々と資料を見させていただいて、色々と考えたんですけども、基本構想だとか実施計画…たくさんしなきゃいけない、そういったものは素晴らしい計画だと思うんですけど、この5年間で何をしなきゃいけないか、中心になるものがあまりにも範囲が広すぎて、ちょっと見えないのではないのかなという感じです。たまたま1週間前か2週間前ぐらいにNHKのテレビで、山梨県の過疎の村の関係で移住対策というのをしまして、そこは奈井江町と同じく医療費だとか教育費だとか、そういった関係のものが無償でした。そして、住宅もですね、戸建ての住宅を村で貸します。家賃は2万円ですってというようなことがあって、何か聞くところによると、10世帯ぐらいの家族が東京から移住してきていると、そういうことで比較的成功的にしているということです。

そういうような報道があったんですけども、その村とすれば、最終的に子育てが終わってその子ども達が、例えば小・中・高が終わって果たして定住してくれるだろうか。そういう将来的な展望が見えないということは働くところがあまりない。せっかくそういう子育て支援をしても、将来的に定住してくれる約束事がない。それが終わってしまうと、またその家族は東京に戻ってしまう。それであれば、せっかくそういうことをしても意味がない。

例えば、奈井江商業高校に支援しても、町に貢献してくれてないのではないかという意見があって、その辺を見直し・廃止するというのと同じじゃないかと思うんですね。ですから、例えば、子育て支援を後期で行いますという重点目標を掲げた場合に従来通りの医療費だとかそういったものはしても、最終的に働く場所がなかったら親だけは残るけども子どもたちは他に行ってしまう。そうすると、当然人口が増えるわけでもないですし、逆にお年寄りばかり増えて、どんどん目減りしていく。結局、俗にいう限界集落ではないですけど、そのような形になってしまうということがあるのでないかと思うので、その辺をやはり企業誘致というのは今の経済情勢では、なかなか難しいのかもしれないですけど、やはり働く場所を早く作るとか、来てもらうとか、奈井江町の商工業者の方ですね、他には無いものを例えば、開発してる・研究してるよ、そういったものがあればですね、先ほど出た、クラウドファンディングを利用するだとか、そういった形のを積極的に進める。それは、業者だけに任せるのじゃなくて、やっぱり役場も一体となって、協力しあいながら長いスパンで考えていかないと人口なんて増えていかないでしょうし、5千5・6百人の人口がどんどん減っていつてしまう。増えるどころか、益々減っていくというような状況になっていくので、やはりこういうことを最重点項目としてやる。そのためには、こういうことを官民一体としてやるよ、というようなものを掲げた方が良いのではないのかなと思います。

色んなことがたくさんあるのですけども、これを理解するっていうことは、なかなか難しいので、例えばの話として、元に戻りますけど、「奈井江町は子育て支援に力入れてますよ」皆さん来てくださーいというようなことを進めていったら良いのではないかなーって感じがします。

たまたまこの間、民生委員の定例会があって、保健師さんとの懇談会の中で、先日、道新の記事にでていましたけど、移住したい町No. 1が沼田町なんですって。そして中空知管内10市町の中で3つしか入ってない。なんで奈井江入ってないのか、奈井江だって子育て支援だとか、色んな形で貢献しているはずなのに何で奈井江が入ってないんだろうかと。変だよなって、そういう話が出たんですよ。

そうすると、一部の委員からですね、奈井江のアピールの仕方がへたくそなんじゃないかと。沼田はもっと上手くやっているのでないかとこんなふうな話も出るくらい。私とすれば結構他の町と比べたらですね、結構やってるんじゃないかと思うのですけど、対外的にアピールするものが足りないんじゃないかなって感じがするんです。ですから、もう少しPRとかアナウンスを期待するっていうか、そういう形にしてもらえれば、移住したい人も出てくるでしょうし、奈井江の子育て支援をしてることに對して、良いことをしてくれてるんだなーってことが、相乗効果で出てくるんじゃないのかなと思います。しいて言うならば、人口増に少しずつでも寄与してくるのでないかなって感じがするんです。

一応、私の意見とすればそういったことが今回この書類を見てですね、ちょっと感じたことです。以上です。

#### 《委員長》

はい。取り組みに対していろんなアドバイスを頂くことになるのですけども、今頂いた意見は、これからの取組への指摘として受けて、ご意見ということで宜しいですか。その他どうでしょうか。

よろしいですか。私からちょっと一点、取り組みというかこういう対応を議論していったらということなのですが。災害に対する対応、大規模災害ですけどね。地震だとかそういう災害での行政的な機能、それから住民あるいは地域での対応。ここ数年、去年も一昨年もそうですし、台風による相当な大水害が起きています。衝撃的なのは、今の温暖化によって近々の内に十勝川水域で4千人の死者がでるのでないかという試算がされていると。とんでもない状況を招くのでないかということが、想定から確実視されてきている状況になってきている。逃れられない災害もあるのですけど、それに奈井江の場合は排水機場、石狩川沿は瑞穂の袋地と高島の奈井江川沿いに2カ所あります。

大雨の時の被害をどうやって調整できるかという点なんですけども、とりあえず、いま奈井江にあるのは、もちろん遊水地はあるのですけどもね、お米を作っている水田の貯水能力というのはもの凄く大きい。基盤整備をして畦もしっかりとした大きい畦になっているので、50mmの雨が10時間降ると500mm。色んな計算の仕方があるのだけど、水田を使ってどこの地域はいつ止めるという機能をきちんと出来れば、万が一、もうここを超えちゃダメだという危ないのを調整できるのではないかと。

これは昔から水田の貯水量っていうのは評価しながらですね、なかなか上手く活用しているっていうのは無いんです実は。難しい厄介な課題なんだけど、今の情報処理化にはアメダスなんかもあっちこちに付いてますので、そういうのを活用して、とりあえず自分の町内の大雨に関わって、万が一の洪水をどの程度防げるのか或いは、軽減できるのかというところに少し検討・研究してはどうかということなんです。

委員会も終了する段階の今更なんですけど、対応課題としてですね、可能な議論が出来ればと思いますので、この時期になって提起するというのは時を遅れてしまったんですけども、あまりにも災害が多くて、こんな状況も出てきておりますので、今すぐとはいきませんが、後期計画の中で、もし、こん

な対応が可能であれば、どうかと思っ申上げました。

その他皆さんの方から何かありませんか。宜しいですか。それではもう一点の提案、役場庁舎の整備について…町長の方から。

#### 《三本町長》

冒頭でも申し上げましたけども、役場庁舎のことについて、検討を始めております。庁舎につきましては、建築後48年が経過したということで、老朽化や防災上の対応について検討が必要であると考えておまして、私が町長になって丸1年経ちますけども、就任するにあたって、多発する自然災害等の災害拠点施設として具体的な検討を進めて議論をしたいと申し上げて参りました。就任後、直接総務省にも行かせていただいて、今ある国の制度の適用期間の延長とか拡充を要望して参りました。その段階で国の考え方について改めて示されたところですが、大規模地震が頻発に起きる中で、耐震性能を満たさない役場庁舎の整備は近々の課題であるとのこと、そして、国の支援が適用される令和2年度中の実施設計・着手という大きな前提条件があります。

「この制度を有効に活用して、整備を実施しなさい。今頃、もうちょっと待つてよという話しは論外だよ」と非常に叱責と言ってもいいくらいの指導を受けたところでもあります。この状況でありますので、早速、役場のプロジェクトチームを設けさせていただいて、まずは、庁舎の現状を確認すること、そして、新築ということに限らず、これから役場庁舎はどういう機能を満たさなければならぬのか、そういうことをきちんと確認した上で、建築するのか、直して改築するのか。そのようなことを検討しようということで、その材料集めを指示しました。

昨年、検討材料が集まったところでもありますので、国制度の活用を視野に入れながらの話になりますけども、皆さんの意見を賜りたいと思いますし、今度とも議会にもご報告を行っていき、今後の在り方を皆さんと共に考えていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

#### 《碓井参事》

皆さまお疲れ様です。庁舎の検討を担当しております、総務課の碓井と申します。どうぞよろしくお願いたします。

今日はですね、お手元に2つの資料を配らせていただいておりますが、1点目の方を私の方から説明させていただきます。

(2) 役場庁舎の整備課題について【資料 庁舎整備関連】

【碓井参事説明】

#### 《岩部主査》

皆さまお疲れ様です。建築を担当しております岩部と申します。私の方からは、役場庁舎整備の検討課題ということでお配りした資料に、庁舎の現状と課題、整備の必要性について説明させていただきます。

(2) 役場庁舎の整備課題について【資料 役場庁舎の検討課題】

【岩部主査説明】

《委員長》

説明は以上でいいですか？

《碓井参事》

一旦ここで、長くなりますので。

《委員長》

それでは、庁舎の整備等についてですね、町内で検討したプロジェクトチーム等々の検討してきた課題等について報告がありました。

現段階でここで議論してくださいという状況ではありませんけども、何か確認等があれば意見を頂きたいと思います。どうですか？

《委員》

役場庁舎の建て替え・改修について、資料の中から改修した場合に15年ぐらいしか持たない。また改めて15年後にはそれなりの費用が掛かるとこういう話がありましたので、私は建て替えしたほうが良いのではないかと思います。

それで建て替える場合に町民が利用しやすい場所に建てる。敷地の面積の問題もあると思いますが、あまり離れたところに建ててもどうなのかなと。

由仁町が結構、町から離れたところに建てて、役場に用事のある町民はどうやって行くのだろうかっ  
て感じることもあるんですね。確かに、広い敷地の中だから駐車場たくさんとれるし良いのかもしれないけど、利便性ということを考えてなかなか難しいのではないのかなと。そうやって考えた場合、奈井江町の場合、この役場の庁舎の中に建てるか、難しいのであれば、近くに建てるということは、私は望ましいと思う。

それと、みんな高齢になってきてるので、民協の定例会も3階でしてるんですけど、息を吐きながら上がってくる状態なので、できれば平屋が望ましいのかなと。もしくは平屋が難しければ、最大2階建てくらいなのかなと私は感じます。そうすることによって、年配の方も比較的役場に来やすいのではないかと、何かあっても上まで上がらなくても平屋の中で住民手続きが出来るとか、要望とか色んな諸手続きが出来るのではないかなという感じがします。

後は、役場本体だけじゃなくて、上砂川もそうですし、雨竜もそうなんですけど、指定金融機関が中に入ってるんですね。ですから、指定金融機関を取り込むことによって、建設費の一部は指定金融機関が、負担するかどうかは分からないですけど、他の町に聞いてもらえれば分かると思うのですが、雨竜の場合は北空知信金ですし、上砂川は北門ですし、そういった形で巻き込む。社協もですね、いま文化ホールにありますけども、入り口を別にして、プライバシーとかの問題もありますので、それを考えながら町民が一カ所で用が足せるというような場所にしたほうが、望ましいのではないかなと私は思います。以上です。

《委員長》

その他どうですか？

《委員》

私も建て替えが良いと思いますし、勝手な予想ですけど、町民の多くが建て替えを希望しているのかなと思います。ただそれでも、やみくもに「建て替え、建て替え」言うのではなくて、これだけの資料を見せられて、「あーそうなんだ」と思ったことが凄くあるので、この資料に書いてあることをもっと皆で共有したいなと思いました。以上です。

《委員長》

どうですか？遠慮しないで。

《委員》

私も建て替えの方に賛成したいと思います。この資料も見せていただいたのですが、役場に来たらやっぱり外形とか、中のトイレとかそういうものも使用させてもらったりしてると、やっぱり分かるんですよ、写真に載ってるような状態とか。もっと便利にとか階段も本当に大変なんですよ、だからその辺をちゃんとしていただいて、あまりいっぱいにするとかかなり広くスペースを取らなければならないですよ？2階・3階でも良いんですけど、エレベーターを付けるとか、そちらの方で対応してもらおうと平屋にするとかかなり大きいスペースが必要になるなと感じました。取りあえずは建て替えの方が良いなと思います。

《委員長》

どうですか？

《委員》

私も建て替えで、もちろんこちらだと思います。コンセプトとしてはですね、令和2年度中に着工しなければいけないとのことなので、どこまで詰め込めるかなと思うのですが役場庁舎以外にもですね、町の施設も老朽化をどんどん迎えているので、いま庁舎だけの建て替えをスポットをあてて見ると、これだけの話になりますけど、全体考えると、他にも老朽化していきますよね。なので、人口も20年後・30年後を考えると、やはり、どうしても減らしざるをえない。その時の受け皿として、防災センターとしての機能を目指すんだとそういうことを考えていくと、例えば、公民館であったり、文化ホールは違うかもしれませんが、そういう施設が老朽化を迎えて、今後更新することを考えないという前提で役場庁舎を造るというのも1つの手なのかなと思います。

このスペースは予め用意しておく。町民が利用するところは平屋建てで良いと思うんですけど、執務スペースは別でもまったく問題だろうし、そういう考え方も必要なのかなと聞いてて思いました。

《委員長》

かなり具体的になってきました。他に皆さんどうですか？今日は決める会合では無いですが、大方の皆さんは建て替えで、いま言われているような課題を整理したほうが良いのではないかと、そういう方向だと思います。私も実はそう思っていることでもあります。色々な諸条件或いは、構想をさらに付加してですね、どういう形でできるのかを段々と詰められていくと思うわけで、今回報告のありました、庁舎の問題については新しくしたほうが良いぞとそういう方向で委員会の皆さんは捉えていると意見を頂いたということにさせていただいて、今日はそこまでの議論とさせてもらいたいと思いますの、よ



ろしくお願いいたします。良いですか？

《是枝係長》

皆さま、委員会出席ご苦労様です。私、事務局担当しております総務課の是枝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。時間も時間ですので、私の方から8 p以降に付きまして、かいつまんでご説明させていただきます。

(2) 役場庁舎の整備課題について【資料 役場庁舎の検討課題】

【是枝係長説明】

《委員長》

庁舎の整備についての検討・課題の報告・提案がありました。先ほど、皆さんも建て替えていくとの方向性だと思いますけども、改めてですね、この委員会でありました報告についてですね。建て替えの方向で取り組んでいくということは、委員会通しても共通認識であるところな風に集約させていただいて宜しいですか？

《委員一同》

はい。

《委員長》

具体的なことは4月までに基本計画、それを取りまとめていかなければならんということですので、そんなに時間は無い中で1つの方向性を持って受けていくことを確認させていただいて、今日はそこまでということに宜しいですか？

《小澤課長》

本日予定しておりました議題につきましては、以上でございます。庁舎整備のところにつきましては、基本計画を詰めていく中でいろんな整理をしながら、また皆さんにご意見をいただきたいと思ひますし、総合戦略の関係もまとも次第、皆さまにご意見いただきたいと考えておりますので、非常にお忙しい中、またお手数おかけしますが、ご協力をお願いいたします。

《三本町長》

今回、皆さんにご説明させていただいたまちづくり計画は、皆さまの意見をしっかりと受け止めたうえで、限りある財源の中で今の課題、そして町民のニーズの最大公約数だと思ひています。最大公約数を盛り込むことがまちづくり計画の布石だと思ひていますので、その中で、町の特色をどうやって示していくのかということだと思ひますし、そのことをしっかりと受け止めていきたいと思ひます。

過日、下川さんにも出ていただきましたけど、子育て中のお母さん達から意見を聞いたときに、「奈井江町は子育て結構しやすいと思ひますよ」というありがたい意見をいただいたりしてます。冒頭で申し上げました「ゆめぴりか」だとか特産品がある中でですね、実は残念ながらご指摘のとおり、沼田町だとかは知名度があるんだけど、奈井江町は空知管内で1番、東京で調査した時に知られていなかった

町のようにあります。ようは、定住・移住も含めて奈井江町というものがちゃんと少しでも多くの人たちに知ってもらうことから始めなければならない。おかげさまで、先ほど言った「ゆめぴりか」だとか、そして、まさに世界に冠たると言っていると思うのですが、住電精密さんがあるということも含めてですね、しっかりとアピールをしていきたいと思えます。これは、まちづくり計画に載らなくてもやれることなので、しっかりと進めていくということと、もう一つ、委員長からあった田んぼダムの話しですけど、これも防災計画にきちんとした位置づけをするということで、まちづくり計画と離れた視点で、まさに整備をする・実施していく課題なので議論できるかと思えます。今いただいた色々な議論の中の意見をしっかりと押さえていくことが私たちの責任だと思えますので、改めて宜しくご理解を頂きたいと思えます。

最後になりますけども、庁舎のご提案については、一定の方向性を頂きました。委員長からも方向性をということで、ご発言がありましたが、このことを確認頂きましたので、頂いた意見を基にしっかりとこれから準備を進めさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。

#### 《委員長》

長時間協議いただきました、ありがとうございました。いま町長から話しがありましたけども、奈井江町をしっかり発展させていく、色々な対応が求められている。その中で庁舎というのは核でありますで、職員・住民の皆さんがですね「良かったな」と言われるような対応ができれば良いなど、確認していければ良いかなと思っておりますので、具体的なことは、この後また委員会で協議して頂くことになるかと思えますが、また皆さんの知恵を頂いてよろしくお願ひしたいなど申し上げて、今日の委員会を終了させていただきます。